

5月
12日

まつお りんのすけ
桂川町出身の松尾 麟之介くんが
東京オリンピック点火セレモニーへ参加

5月11日・5月12日に、東京2020オリンピック聖火リレーの実施が予定されていましたが、福岡県が緊急事態宣言の区域に追加されたため、福岡県内オリンピック聖火リレーは公道での実施に代えて、両日セレブレーション会場での点火セレモニーを実施しました。5月12日に関門海峡ミュージアムイベント広場で開催されたセレモニーでは、桂川町出身の松尾麟之介くんが参加し、多くのランナーがつないできたオリンピック開催への「想い」を聖火にのせて繋ぎました。



聖火ランナーの想い



松尾 麟之介 くん (土師七)

聖火ランナーに選ばれてからこれまで、たくさんの方から、喜びや激励の言葉をいただき、生まれ育った桂川町で聖火ランナーとして走るのを楽しみにしていました。

聖火リレーの日が近づき気持ちが高まる中、公道での聖火リレーが中止となり、心中無念の思いでしたが、点火セレモニーに参加しトーチキスで聖火を繋ぐことができたので、とても嬉しかったです。

実際に間近で聖火を見て、多くのランナーに受け継がれてきた聖火の重みを改めて感じました。

聖火ランナーとして走ることは叶いませんでしたが、世界のアスリートたちが競う東京オリンピックに関わることができて感謝の気持ちでいっぱいです。

一生の思い出に残る貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。